

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.10	自治体提示の地域課題名	自治体名
		地域コミュニティの再生	裾野市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	裾野市を「動物に優しい街」に		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	The アニマルズ		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生 ドロップダウン選択 →		2. 学生
チームメンバー数(公開)	4名		
代表者(公開)	伊藤昊雅		
メンバー(公開)	板垣胡羽、岩田椿憂花、大胡田涼加		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名([メンバー一覧ページ](#)を参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 → OK

<チームメンバー名簿:[メンバー一覧ページ](#)>

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動（サービス）を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。**2 ページ以内**でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

裾野市の印象 印象の強いイベントづくり

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみる）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

裾野市の印象の強いイベントと考えたときに、印象の強いイベントは無いと思う生徒が多く、また、裾野市に「〇〇な街という印象がほしい」という市長の発言を見たことがある。

そんな中、裾野市で有名なものと言えば？と考えたときに富士サファリパークが連想される。そして年々裾野市内で犬の飼育率が増えてきて、全国的に見ても、犬の飼育率が多いことがわかった。

そこで、【裾野市に〇〇な街という印象をつけたい】、【裾野市には印象の強いイベントが無い】という課題を解決するために、犬を中心としたイベントを行う。そのイベント内で、飼い主や犬の悩みを解決するために、様々な企画をする。

イベントの企画

企画1

犬の運動会を行う。ミニゲームのようなものをいくつか行うようにする。

企画2

飼い主がペットの悩みを相談できる場を開く。

企画3

運営側から「こういったことに気を付けてほしい」などを簡潔にまとめ、冊子にして渡す。

企画1

→ペットと飼い主が楽しめる空間にするため、そしてペットの運動不足を解消。&ペットを飼っていない人でも楽しんで見れるようなものにするため

企画2

→普段の生活で犬に関する悩みを相談する場が無い、または行く機会が無い。だから、こういったイベントのついでに、悩みを相談できる場を設け、解決につなげる。

企画3

→悩み相談の場では個々に相談する内容が違う。また、運営側から相談の場で、相談されたこと以外の気を付けてほしいことなどのアドバイスを言うことは、時間を取ってしまうかもしれないため、冊子にして渡す。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

理由1 裾野市に〇〇な街という印象をつけるということについて

これは裾野市のHPに書いてあったため

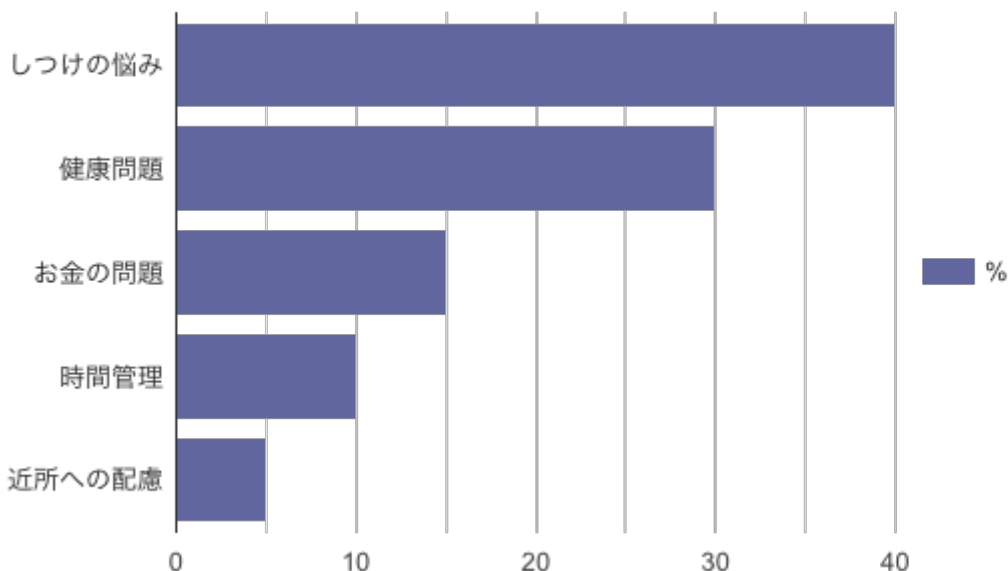
理由2 なぜ犬なのか

自分たちに身近な動物と考えたときに、猫か犬が連想される。そして、猫だと家にいることが多いが、犬だと散歩をすることが多いなど外に出ることのほうが多いから。次に、動物のイベントを行うとなったときに、動物園の協力を得るのは高校生では無理だと考えたから。

理由3 イベントの企画について

楽しいイベントを行うついでになるからだけではなく、以下のランキングを見たときに、しつけの悩みと健康問題が上位に上がっているから、運動会で犬の運動不足を解消してもらい、しつけの悩みは、人それぞれのため、ネットでは分かりづらい部分も多くある。だから、生で相談のできるの場を設ける。

愛犬の悩みランキング



(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1、裾野高校生徒、裾野市役所生活環境課

企画のために、保護団体やドッグランの運営者、動物病院

2、【ヒト】

地域の犬を飼っている住民、イベントを見に来てくれる住民。運動会を行うときに、より楽しめるようにするためにドッグランの運営者の意見を取り入れる。相談の場を設けるため保護団体の方々に相談を聞いてもらう。

【モノ】

会場を裾野高校の運動場を使う。救護室や休憩スペースを設けるためにテントを使う。

遊ぶ道具をドッグランの運営者に借りる。

ドッグランの運営者や保護団体、動物病院に意見をもらい、気を付けてほしいことをまとめた冊子を作る

【カネ】

参加費は無料。保護団体の方々やドッグランの運営者の方々にはボランティアで行ってもらう。

3、

これまでの行動

2024 年4月～11 月 課題発見、企画を考える。 9 月 市役所に行く。 11 月 保護団体、動物病院に質問をする。 12 月 企画発表

これからの行動 2025 年 4 月～6 月 ドッグラン運営、保護団体、動物病院の意見を取り入れ、企画の内容をより良いものに仕上げる。 7 月～9 月 イベント開催の告知 10 月 イベントの開催